

豪華講師陣  をお招きした *Special collaboration* 研修会開催

矯正施設における作業療法のこれまでとこれから  
—川越少年刑務所での実践報告と先駆者に学ぶ歩みと今後の展望—

活動報告

令和8年2月28日

ここらくらし研修会 in 大宮



ここらOT室とは？

誰でも気軽に参加することができる精神科作業療法について語り合う双方向型情報バラエティー番組です！  
年間5回程度、オンラインにて開催しています。  
年に数回、対面開催も行っています！

参加できる人は？

作業療法士は勿論のこと理学療法士・言語聴覚士・看護師・介護支援専門員・作業療法学生・当事者の方等誰でも無料で参加できる研修会です！  
飲食もOKです。どうぞお気軽にご参加下さい。



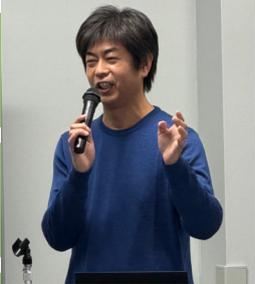
講義の様子



▲川越少年刑務所次席矯正処遇官 二宮 康高 様



▲川越少年刑務所所長 北川 統之 様



▲高知リハビリテーション専門職大学 足立 一 教授



▲川越少年刑務所及び関東矯正管区の方々

講演 1	川越少年刑務所における作業療法の視点と実践 講師：ここらとくらしの地域支援推進委員会 委員長 原裕如 氏
講演 2	OTの視点を取り入れた川越少年刑務所の受刑者処遇 講師：川越少年刑務所所長 北川統之 氏 ほか
講演 3	刑務所での作業療法について 講師：高知リハビリテーション専門職大学 教授 足立一 氏

▲研修会プログラム 会場はソニックシティの会議室



研修会後は、懇親会の方も設けさせていただきました。研修会の熱も冷めやらぬ中、少し肩の力を抜いてざっくばらんに様々な意見交換ができました。刑務所では話せない個々の想いや、熱い志等を語り合える場になり、貴重な時間となりました。



▼懇親会の様子

研修会のプログラムは上記に示した内容である。まずはここら委員の委員長の原から、この一年の経過報告を発表。その後、二宮次席にご登壇いただき、矯正に関する基礎的な知識や刑務所での作業療法の様子をご発表いただいた。続いて、足立教授にご登壇いただき、豊富な経験を通じた貴重なご講義をいただいた。また、上記の写真にあるように、川越少年刑務所や関東矯正管区の方々からも皆様お一人お一人から、刑務所での作業療法に関するお話を伺い発表いただいた。

あつという間の3時間半。講義や質疑応答の機会を通し、今後の川越少年刑務所での作業療法の展開を検討できる貴重な場になった。足立教授からは『(刑務所作業療法の)川越モデル』という言葉が飛び出すなど、この一年間邁進してきた活動が一つの形になりつつあることに喜びを感じた。そして、今後も更に進化した介入を行っていきたい！と心に誓ったここら委員だった。

改めてこの場をお借りし、足立教授、北川所長をはじめとした川越少年刑務所の方々、関東矯正管区の方々にお礼申し上げます。

2025年1月。我々ここら委員は、川越少年刑務所へ向かった。目的は、刑務所での作業療法を展開するための会議だ。普段の臨床現場とは異なる緊張感の中、見学や会議を進めていった。その後、我々も驚くスピードで活動が展開され、2025年5月から刑務所での作業療法が開始された。以後、一ヶ月に2回の頻度で、ここら委員が刑務所へ伺い、刑務所の職員の方々や協業し介入を行っている。2025年の埼玉県作業療法学会では、受刑者の作品展示も実現し、川越少年刑務所の北川所長をはじめとした刑務所の職員の方々にも、学会会場へ足を運んでいただけたことも記憶に新しい。その後も、介入内容は進化し、受刑者の出所に際したカンファレンス等への参加も実現した。

手探りで突っ走った半年。そんな中、素敵なご縁があり刑務所の作業療法の先駆者である、高知リハビリテーション専門職大学の足立一教授をお招きし、昨秋にここらOT室をオンラインにて開催した。目から鱗の研修会であり、もう一度足立教授の講義を聴講したいという思いをお伝えしたところ、ご快諾をいただき今回の研修会に至った。

そして貪欲なここら委員は、川越少年刑務所の方々のご講義も聴講したいとお願したところ、快くお受けいただけました。こんなに豪華な研修会が実現しているものか？と贅沢病に罹患したような気持ちで、今回の研修会を迎えた。